

令和2年度第1回TAMA女性センター市民運営委員会 会議概要

開催日時：令和2年6月24日（水）15：00～16：30

場 所：TAMA女性センター 活動交流室

出席委員：浅田由美子委員、長野知子委員（50音順）

欠席委員：なし

TAMA女性センター（事務局）：河島課長、西係長、吉田、山本

傍聴者：3名

司 会：西係長

<配付資料>

- 当日配付 (1) (資料1) TAMA女性センター市民運営委員会設置要綱
(2) (資料2) 市民ワークショップチラシ

1. 開会

2. 委嘱状の交付

市民運営委員の改選により、新たに委嘱する市民運営委員2名に市より委嘱状が交付された。任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日までである。

3. TAMA女性センターから

- (1) 事務局より、「TAMA女性センター市民運営委員会設置要綱」について説明を行った。(資料1)
- (2) 事務局より、「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」について説明を行った。
- (3) 事務局より、「多摩市女と男がともに生きる行動計画」について説明を行った。

4. 今後の予定について

(事務局)

- ・市民運営委員が現状2名と少なく、今後新たに市民運営委員を追加募集していくにあたり、これまでと同様に委員会や開催事業への出席を必須とすると負担が大きく応募もしにくくなってしまうことが考えられるため、今後の市民運営委員会の運営手法を見直していく必要もあると考えている。
- ・「多摩市女と男がともに生きる行動計画」の目標を達成できるような企画を考えていきたい。

(市民運営委員)

- ・講座を企画する際は、外部の団体や民間企業等にすべて任せるようなことはせず、市民運営委員自身が知識を深めたり、企画能力等を身に付けられるよう委員による企画立案が大切である。
- ・新型コロナウイルスの影響で講座を開催し参加者を集めることが難しいため、オンラインによる講座の実施についても検討してみてもどうか。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現状実施は難しいと思われるが、ワークショップルームを活用して料理教室等の実施をするような講座は親子の集客が見込めるほか、食育にもなって良いのではないかと。
- ・若い世代(20~40代)の参加者が少ないため、若い世代にTAMA女性センターを知ってもらう必要がある。講座等の事業への参加をきっかけにTAMA女性センターの取り組みを知ってもらい、市民運営委員会や、フェスティバル実行委員会への参加などにつなげていくことが理想ではないかと。
- ・人と人の距離を確保できるなら映画企画でも良いのではないかと。映画館はオープンしているためやり方を工夫すれば開催は可能ではないかと。映画だと人が集まるイメージがある。男女平等と人権の観点が含まれているディズニー映画「ズートピア」が良いのではないかと。
- ・たま広報での周知期間を考慮すると、映画企画は早くても11月開催が現実的ではないかと。

(事務局)

- ・講座の開催場所を聖蹟桜ヶ丘(TAMA女性センター)に限定しているため多摩センター付近のニュータウン地域の住民が疎遠になりがちである。大学が近くにあり比較的若い世代が集まる多摩センターエリアでの実施についても検討していきたい。

(市民運営委員)

- ・審議会の委員の方々もイベントや講座の様子を見に来ていただけると令和3年度からの「第四次 多摩市女と男がともに生きる行動計画」策定時の参考になるのではないかと。

5. 「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」策定に向けた市民ワークショップの開催について（資料2）

（事務局）

- ・新しい行動計画策定に向けて行動計画の根幹となる基本目標を市民と一緒に考える目的から、7月21日（火）と22日（水）に市民ワークショップを開催する。
- ・現在の行動計画が策定された10年前、中間見直しを実施した5年前と状況が変わっており、それに伴い市民のニーズも当時から変化していることが想定されるため、できるだけ市民の声を反映させたい。
- ・なお2日間に分けて実施すること、グループを部屋ごとに分ける等、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をしたうえで実施する予定である。

6. 次回以降の活動日程の決定

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現時点で次の講座の開催の目途がたないことと、人と人の接触を極力避ける必要があると考え、次回は8月の開催とした。

第2回市民運営委員会	8月19日（水）15：00
------------	---------------

7. その他

8. 閉会